



報告書

令和2年10月28日

小牧市議会議長 様

会派名 新政こまき
代表者氏名 小沢 国大

研修・調査を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 研修日

令和2年10月26日（月）

2 研修先及び研修項目

研 修 先：京都府京都市内 京都テルサ

研修項目：議会の広報公聴・質問力レベルアップ講座 in 京都

- ・市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える
- ・一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

3 参加議員

諸岡 英実

4 調査内容

別紙のとおり

① 日時

令和2年10月26日（月）10時から17時00分

② 訪問先

京都テルサ

③ 説明者

土山 希美枝（龍谷大学）

④ 研修項目

- ・ 市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える
- ・ 一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

⑤ 研修先の選定理由や目的

議会改革委員会においても、議会だより編集委員会の特別委員会化が議論されており、小牧市議会全体として議会広報公聴の在り方を考える必要性があったこと、一般質問の質問力向上については、時間短縮を迫られた小牧市議会の在り方、一般質問の機能の本質を今一度見直す機会ともなると考え、本研修先を選定した。

⑥ 考察（小牧市への反映）

3月議会是一般質問が新型コロナウイルス感染拡大の影響から取りやめとなり、二議会分の一般質問が時間短縮となった。これを踏まえ、一般質問の機能とは本来どういったものなのか。一般質問を効果的に機能させる力を発揮する質問の在り方や議会改革の最前線について知見を深め、市議会に寄与するために役立つ研修となった。12月議会的一般質問時間配分についても、もう一度議論を深め、一般質問の重要性を再認識していった上で判断する必要があると、本研修を機に再考する機会となった。

議会の広報公聴は、市民と議会、議員との信頼関係づくりの基本となる媒体であり、議会の活性化に繋がる大きな力ともなるため、今後の議会だより編集委員会の特別委員会化に向けても、注力していくべきものと考え。鷹栖町議会で行われている「定例会開催」についての新聞折り込みは、議会傍聴の呼びかけに効果的だったと言われ、小牧市議会でも将来的に行ってもよいものではないか。議会は、その役割を市民に認知され、理解さ

れているか。広報公聴が、議会と市民を繋ぐ信頼関係構築材料に正しくなっているか。議会の魅力を向上させ、より議会が活性化する風土づくりができているか。そんな問いかけから、議会の仕組みをしっかりと理解すること、市民と議会との接点をマッチングさせるための先進事例を伺い、大変議会改革に繋がる研修となった。